

第1回みえ県民1万人アンケートの集計結果全体（概要）について

「強じんな美し国ビジョンみえ」では、“県民の皆さんが未来に希望をもち、幸福を感じながら、元気に、かつ安全・安心に暮らすことのできる持続可能な地域”を目指すこととしており、県民の皆さんの「生活の満足度」を把握し、県政運営に活用するため、1万人の県民の皆さんを対象に実施しました。

今回、令和5年1月から2月にかけて実施した「第1回みえ県民1万人アンケート」の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

I 調査の概要等

- 1 調査期間 令和5年1月～2月
- 2 調査方法 県内に居住する18歳以上の10,000人
に対する郵送アンケート
調査票の回収は、記入した調査票の
返送又はインターネット上での回答
- 3 有効回答数 4,736人、有効回答率47.4%
(郵送回答76.9%、Web回答23.1%)

4 調査項目

- ・生活の満足度
- ・県が注力している取組
 - ▶「防災」「子ども・子育て支援」「観光」「リニア」「デジタル」「結婚」「転入・転出」
- ・属性

5 その他

第1回みえ県民1万人アンケートの集計結果をまとめた報告書は、6月1日（木）に県ホームページに掲載する予定です。また、6月下旬以降に県庁や各県庁舎（地域防災総合事務所、地域活性化局等）に配置する予定です。

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/mieishiki/>

6 回答者の属性

(1) 集計する際の基本的な属性は、性別、年齢、配偶関係、世帯類型、主な職業、世帯収入、地域の7つとしています。

(2) 回答者属性の構成比について、第11回みえ県民意識調査（以下、前回調査）との差における主な特徴は次のとおりです。

- ・性別では、「女性」の割合が前回調査より高くなっています。
- ・年齢別では、「18歳から20歳代」、「30歳代」、「70歳以上」の割合が前回調査より高く、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」の割合が低くなっています。
- ・配偶関係別では、「未婚」の割合が前回調査より高く、「有配偶」の割合が低くなっています。
- ・世帯類型別では、「単身世帯」、「一世代世帯」、「その他世帯」の割合が前回調査より高く、「二世帯世帯」、「三世帯世帯」の割合が低くなっています。
- ・主な職業別では、「正規職員」、「学生」、「無職」の割合が前回調査より高く、「自営業・自由業」、「パート・バイト・派遣」、「その他の職業」、「専業主婦・主夫」の割合が低くなっています。
- ・世帯収入別では、「400万円未満」の割合が前回調査より高く、「400万円以上」の割合が低くなっています。
- ・地域別では、「伊賀地域」、「中南勢地域」、「伊勢志摩地域」、「東紀州地域」の割合が前回調査より高く、「北勢地域」の割合が低くなっています。

図表1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比 (%)		(差)
			第11回みえ県民 万人アンケート	第11回みえ県民 意識調査	
性別	男性	2,025	42.8	43.6	△ 0.8
	女性	2,665	56.3	54.9	1.4
	その他	8	0.2	-	-
	不明	38	0.8	-	-
年齢	18歳から20歳代	355	7.5	4.8	2.7
	30歳代	480	10.1	9.0	1.1
	40歳代	723	15.3	16.6	△ 1.3
	50歳代	844	17.8	22.1	△ 4.3
	60歳代	931	19.7	23.9	△ 4.2
	70歳以上	1,326	28.0	21.6	6.4
	不明	77	1.6	2.0	△ 0.4
	配偶関係	未婚	733	15.5	12.1
離別		359	7.6	-	-
死別		353	7.5	-	-
有配偶		3,217	67.9	76.6	△ 8.7
不明		74	1.6	1.1	0.5
世帯類型	単身世帯	553	11.7	7.0	4.7
	一世代世帯	1,547	32.7	31.3	1.4
	二世帯世帯	2,096	44.3	48.3	△ 4.0
	三世帯世帯	406	8.6	10.7	△ 2.1
	その他世帯	83	1.8	1.3	0.5
	不明	51	1.1	1.5	△ 0.4
主な職業	農林水産業	83	1.8	1.8	0.0
	自営業・自由業	397	8.4	9.2	△ 0.8
	正規職員	1,457	30.8	27.9	2.9
	パート・バイト・派遣	924	19.5	21.4	△ 1.9
	その他の職業	171	3.6	6.5	△ 2.9
	学生	97	2.0	1.7	0.3
	専業主婦・主夫	522	11.0	12.4	△ 1.4
	無職	1,039	21.9	17.6	4.3
	不明	46	1.0	1.5	△ 0.5
世帯収入	100万円未満	241	5.1	4.5	0.6
	～200万円未満	518	10.9	8.9	2.0
	～300万円未満	701	14.8	14.6	0.2
	～400万円未満	635	13.4	11.8	1.6
	～500万円未満	478	10.1	10.6	△ 0.5
	～600万円未満	430	9.1	9.7	△ 0.6
	～800万円未満	573	12.1	13.8	△ 1.7
	～1,000万円未満	364	7.7	8.5	△ 0.8
	1,000万円以上	346	7.3	8.9	△ 1.6
	わからない	391	8.3	7.1	1.2
	不明	59	1.2	1.7	△ 0.5
地域	北勢地域	2,140	45.2	46.5	△ 1.3
	伊賀地域	453	9.6	9.5	0.1
	中南勢地域	1,343	28.4	26.9	1.5
	伊勢志摩地域	615	13.0	12.8	0.2
	東紀州地域	168	3.5	3.4	0.1
	不明	17	0.4	1.0	△ 0.6
有効回答数	4,736	100.0	100.0	-	

II 集計結果（概要）

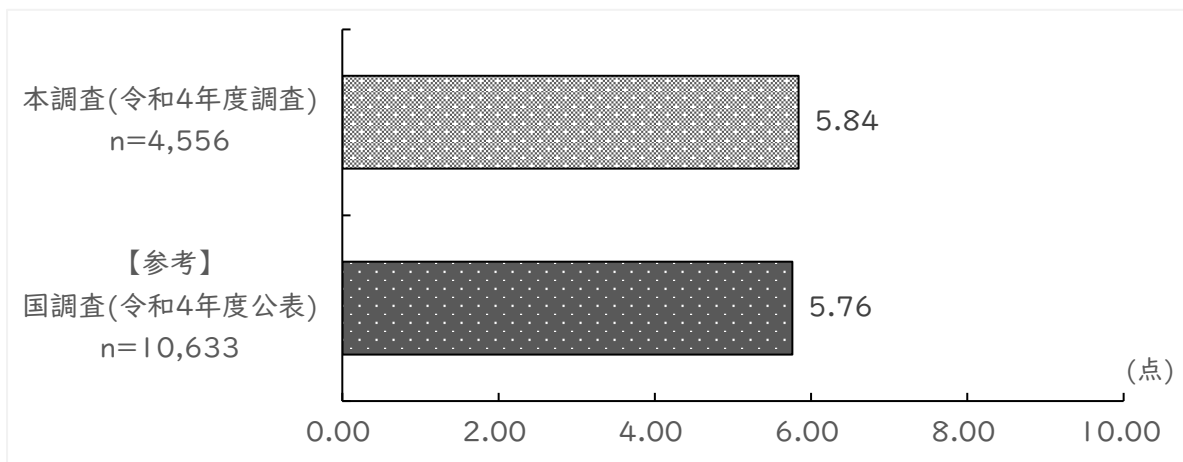
I 生活の満足度について

(1) 現在の生活の満足度

問1 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。
 「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになるとお思いますか。

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は5.84点でした。

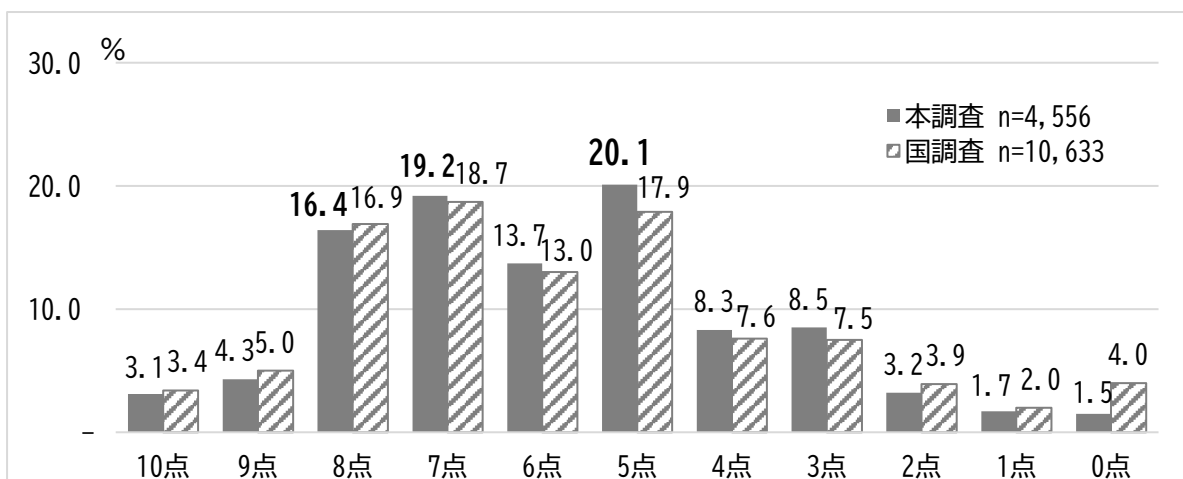
図表2 生活の満足度の平均値（国調査との比較）



※国調査は、約10,000人へのインターネット調査（うち約3,300人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「5点」の割合が20.1%と最も高く、次いで「7点」が19.2%、「8点」が16.4%となっており、M字型となっています。

図表3 生活の満足度の分布（国調査との比較）



※国調査は、内閣府「満足度・生活の質に関する調査」（2022年）の個票データより三重県で算出

(2) 14 分野別の満足度

問2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」(満足)～「1」(不満) (わからない方やあてはまらない方は「0」)の中から選んでください。

- ①家計と資産
- ②あなた自身の給料や報酬・賃金
- ③仕事のやりがいや生活とのバランス
- ④健康状態
- ⑤医療サービス
- ⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ
- ⑦子育てのしやすさ
- ⑧子どもの教育
- ⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり
- ⑩身のまわりの自然環境
- ⑪自然災害への備え
- ⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全
- ⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい
- ⑭移動手段、交通の便利さ

○ 選択肢はいずれの質問も下記の通りです。

5 満足 4 どちらかといえば満足 3 ふつう

2 どちらかといえば不満 1 不満 0 わからない・あてはまらない

○ 「14 分野別の満足度」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる分野別の満足度を調べ、全体としての生活の満足度を把握します。

○ 生活の幅広い範囲について包括的に評価できる体系として総合的な主観満足度とは別に、生活に関連した 14 分野で設定した質問となっています。

【「満足している層」の割合】

○ 14分野別の満足度をおききしたところ、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した「満足している層」の割合は、「⑩身のまわりの自然環境」が34.7%で最も高くなっています。次いで、「④健康状態」(27.1%)、「⑤医療サービス」(22.1%)の順となっています。

【「満足していない層」の割合】

○ 「不満」と「どちらかといえば不満」を合計した「満足していない層」の割合は、「④移動手段、交通の便利さ」が47.1%で最も高くなっています。次いで、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」(40.5%)、「①家計と資産」(35.8%)の順となっています。

図表4 14分野別の満足度（一覧）

	■満足 □どちらかといえば満足 □ふつう □どちらかといえば不満 □不満 □わからない・あてはまらない ■不明						満足して	満足して
							いる層	いない層
							(%)	(%)
①家計と資産	14.5	39.1	22.1	13.7			18.3	35.8
②あなた自身の給料や報酬・賃金	9.9	27.3	24.3	16.2	16.5		12.6	40.5
③仕事のやりがいや生活とのバランス	15.8	36.8	17.0	7.2	16.2		19.5	24.2
④健康状態	7.5	19.6	46.2	17.2	7.0		27.1	24.2
⑤医療サービス	17.4	50.5	15.4	5.6			22.1	21.0
⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ	7.1	30.0	12.7	6.6	39.5		8.7	19.3
⑦子育てのしやすさ	7.7	28.7	11.5	42.2			8.9	16.4
⑧子どもの教育	7.7	29.6	11.8	41.0			9.0	16.3
⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり	11.8	56.1	14.0	8.1			14.9	18.5
⑩身のまわりの自然環境	7.2	27.5	47.9	9.5			34.7	13.5
⑪自然災害への備え	8.4	51.1	21.7	7.5	7.5		9.9	29.2
⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全	11.9	54.2	19.7	6.4			13.9	26.1
⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい	15.8	50.5	14.3	8.8			19.7	19.0
⑭移動手段、交通の便利さ	14.3	31.3	27.5	19.6			18.1	47.1

※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

2 県が注力している取組に関することについて

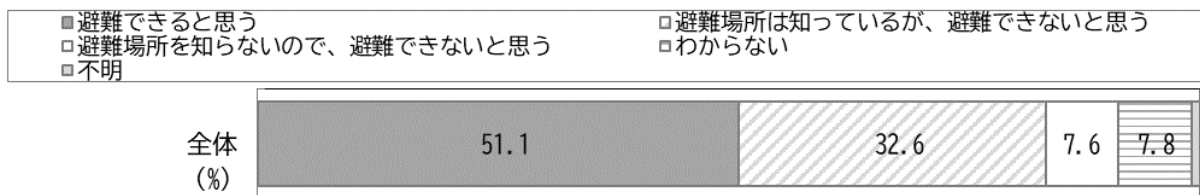
- 県が注力している取組に関することについては、「強じんな美し国ビジョンみえ」で示す基本理念の実現に向けて取組を一層加速させていかなければならないと考えられる課題を抽出し、積極果敢に対応していくため、県民の皆さんの実感や状況をみえ県民1万人アンケートでおききました。

○ 災害への備えについて

問3 あなたは、避難が必要な災害が起きた場合、身近な避難場所に避難することができると思いますか。

- 避難が必要な災害が起きた場合、身近な避難場所に避難することができるかについて質問したところ、「避難できると思う」が51.1%で最も高く、次いで「避難場所は知っているが、避難できないと思う」(32.6%)、「わからない」(7.8%)となっています。

図表5 避難が必要な災害が起きた場合、身近な避難場所に避難することができると思うか

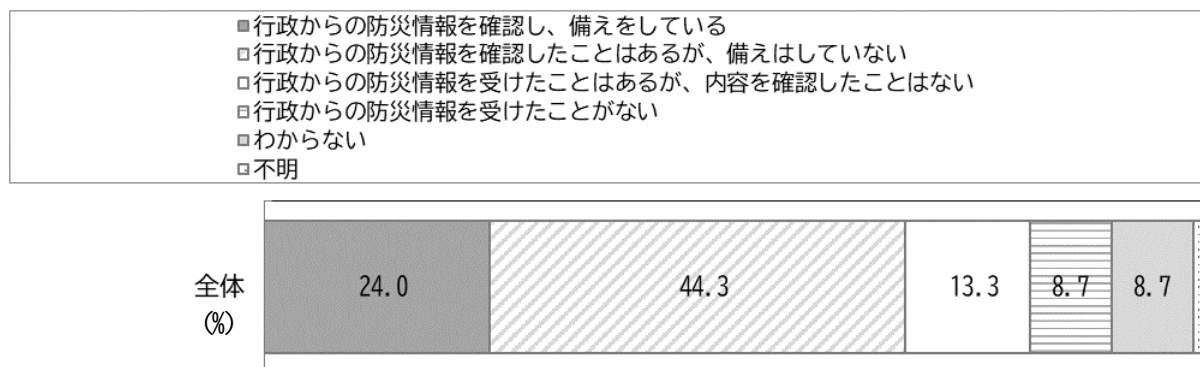


※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問4 あなたのご家庭では、行政から提供される防災マップなどの情報提供により、災害から身を守るための備えをしていますか。

○ ご家庭で、行政から提供される防災マップなどの情報提供により、災害から身を守るための備えをしているかについて質問したところ、「行政からの防災情報を確認したことはあるが、備えはしていない」が44.3%で最も高く、次いで「行政からの防災情報を確認し、備えをしている」(24.0%)、「行政からの防災情報を受けたことはあるが、内容を確認したことはない」(13.3%)となっています。

図表6 ご家庭で、行政から提供される防災マップなどの情報提供により、災害から身を守るための備えをしているか

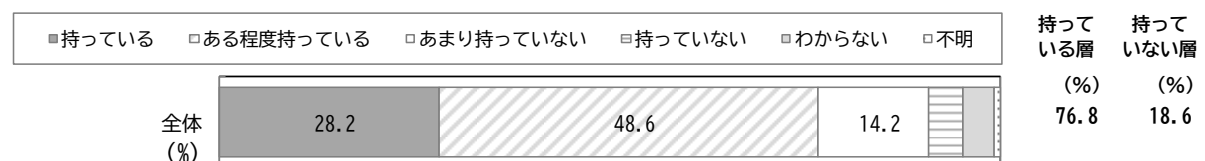


※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問5 あなたは、災害が発生した時に地域の住民とお互いに助け合う意識をお持ちですか。

○ 災害が発生した時に地域の住民とお互いに助け合う意識を持っているかについて質問したところ、「持っている層」が76.8%で、「持っていない層」(18.6%)より58.2ポイント高くなっています。

図表7 災害が発生した時に地域の住民とお互いに助け合う意識を持っているか



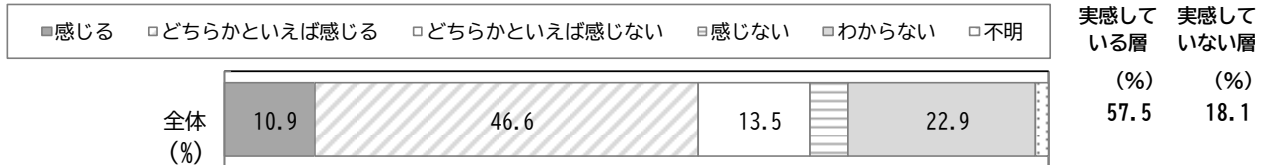
※「持っている層」の割合・・・「持っている」と「ある程度持っている」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「持っていない層」の割合・・・「持っていない」と「あまり持っていない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

○ 子ども・子育て支援について

問6 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

- 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるかについて質問したところ、「実感している層」が57.5%で、「実感していない層」(18.1%)より39.4ポイント高くなっています。

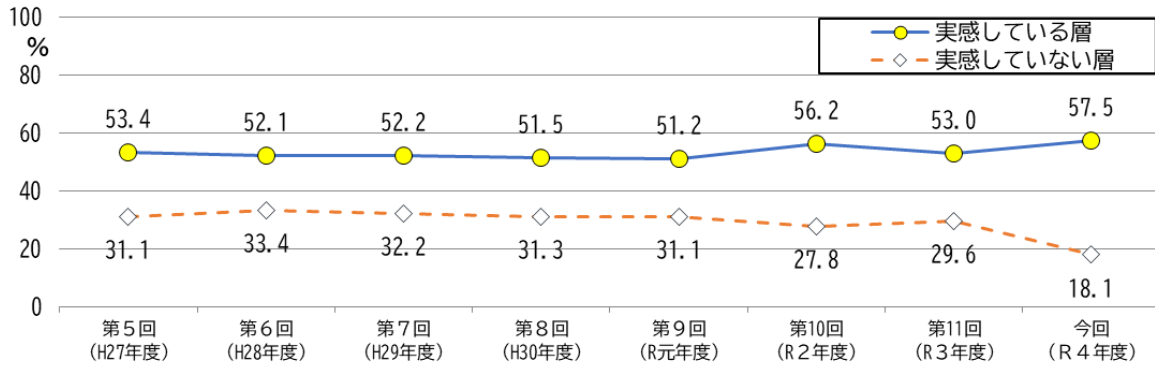
図表8 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

- 「実感している層」の割合は、これまでの調査結果と比較して最も高く、「実感していない層」の割合も最も低くなっています。

図表9 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



※「第5回みえ県民意識調査」からの推移
 ※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問7 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。
理想の子どもの人数をお答えください。

➤ 子どもを希望する割合

○ 子どもの希望を質問したところ、「子どもがほしい・ほしかった」の割合は72.8%で、
第11回みえ県民意識調査より8.9ポイント低くなっています。

図表 10 子どもを希望する割合

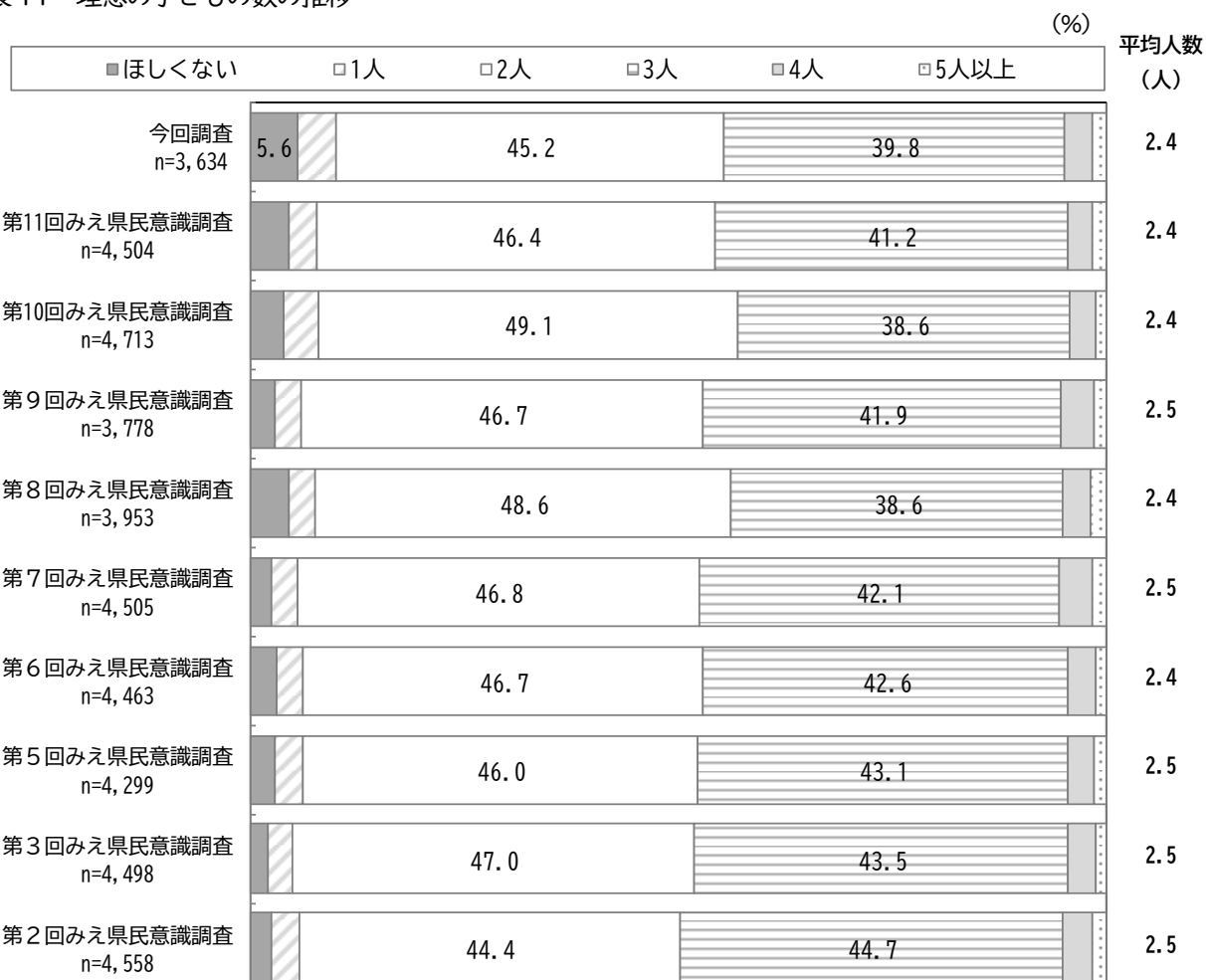


※第11回みえ県民意識調査以前は「わからない」と「不明」を合算し、「わからない」で計上

➤ 理想の子どもの数

- 理想の子どもの数について、「2人」の割合が45.2%で最も高く、次いで「3人」(39.8%)となっています。第11回みえ県民意識調査と比較すると「2人」、「3人」の割合はそれぞれ低くなっています。

図表11 理想の子どもの数の推移



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」と設定

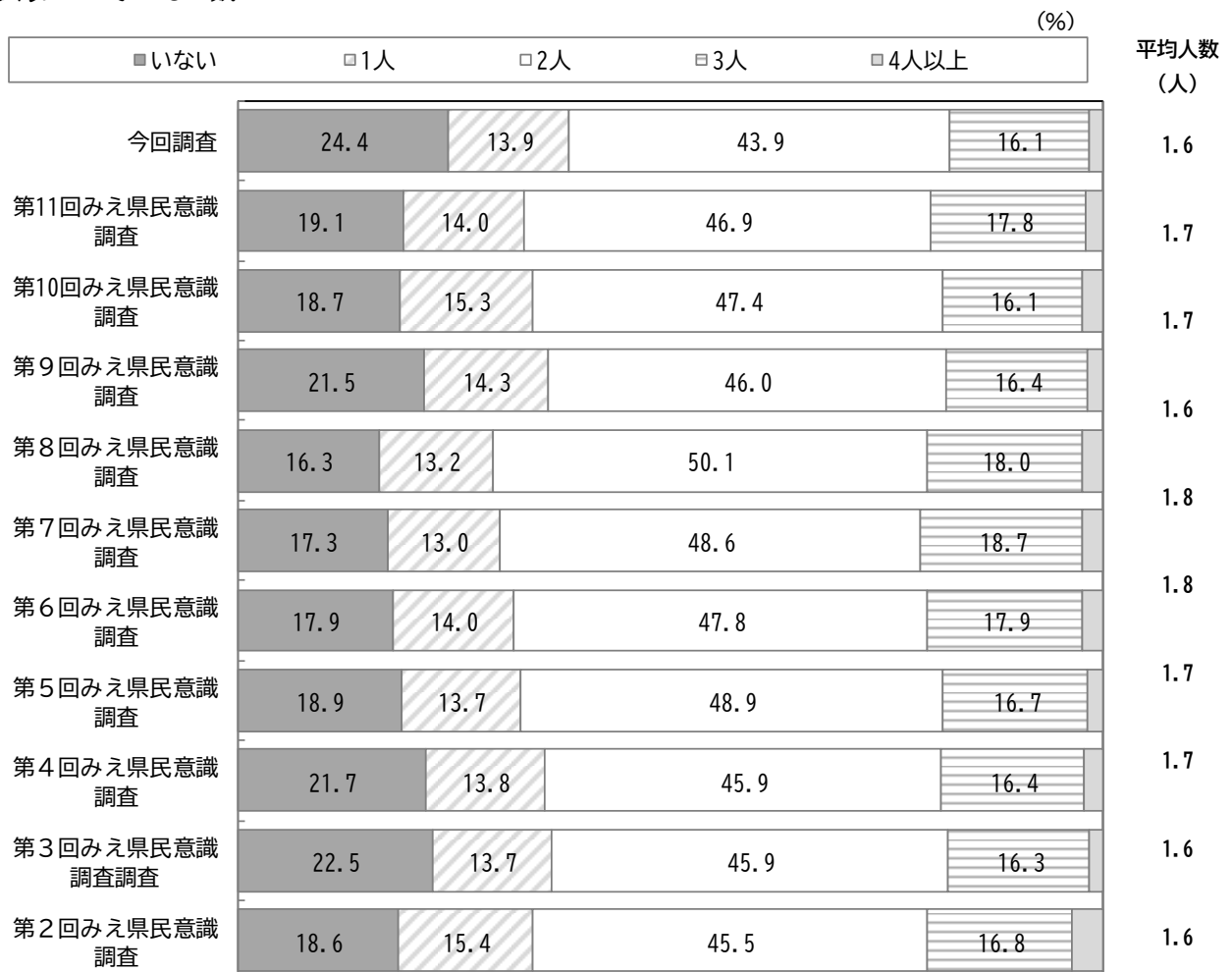
問8 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

➤ 子どもの数

○ 実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が43.9%、「いない」が24.4%、「3人」が16.1%、「1人」が13.9%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.6人で第11回みえ県民意識調査より0.1ポイント低くなっています。

図表12 子どもの数



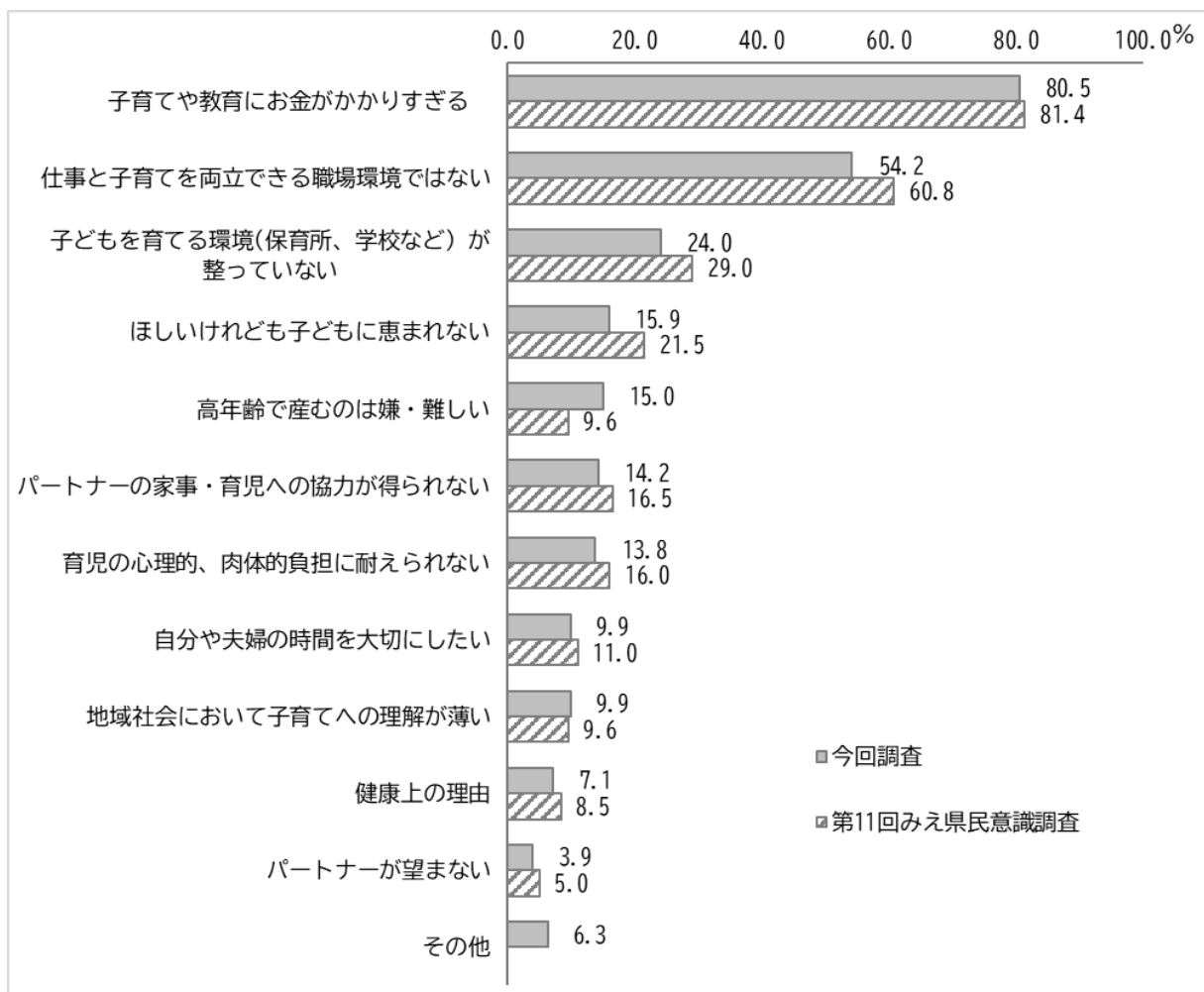
※ 「不明」を除いて回答割合 (%) や平均人数を算出

問9 これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少ないという傾向がでています。この理由として、あてはまると思うものに○をつけてください。(複数回答可)

➤ 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由

- 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない主な理由を質問したところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が80.5%で最も高く、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境ではないから」(54.2%)、「子どもを育てる環境(保育所、学校など)が整っていないから」(24.0%)となっています。
- 第11回みえ県民意識調査の割合と比較すると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、「仕事と子育てを両立できる職場環境ではないから」の順に高くなり、「高年齢で産むのは嫌・難しい」以外の項目では同じ傾向となっています。

図表 13 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由 [複数回答]



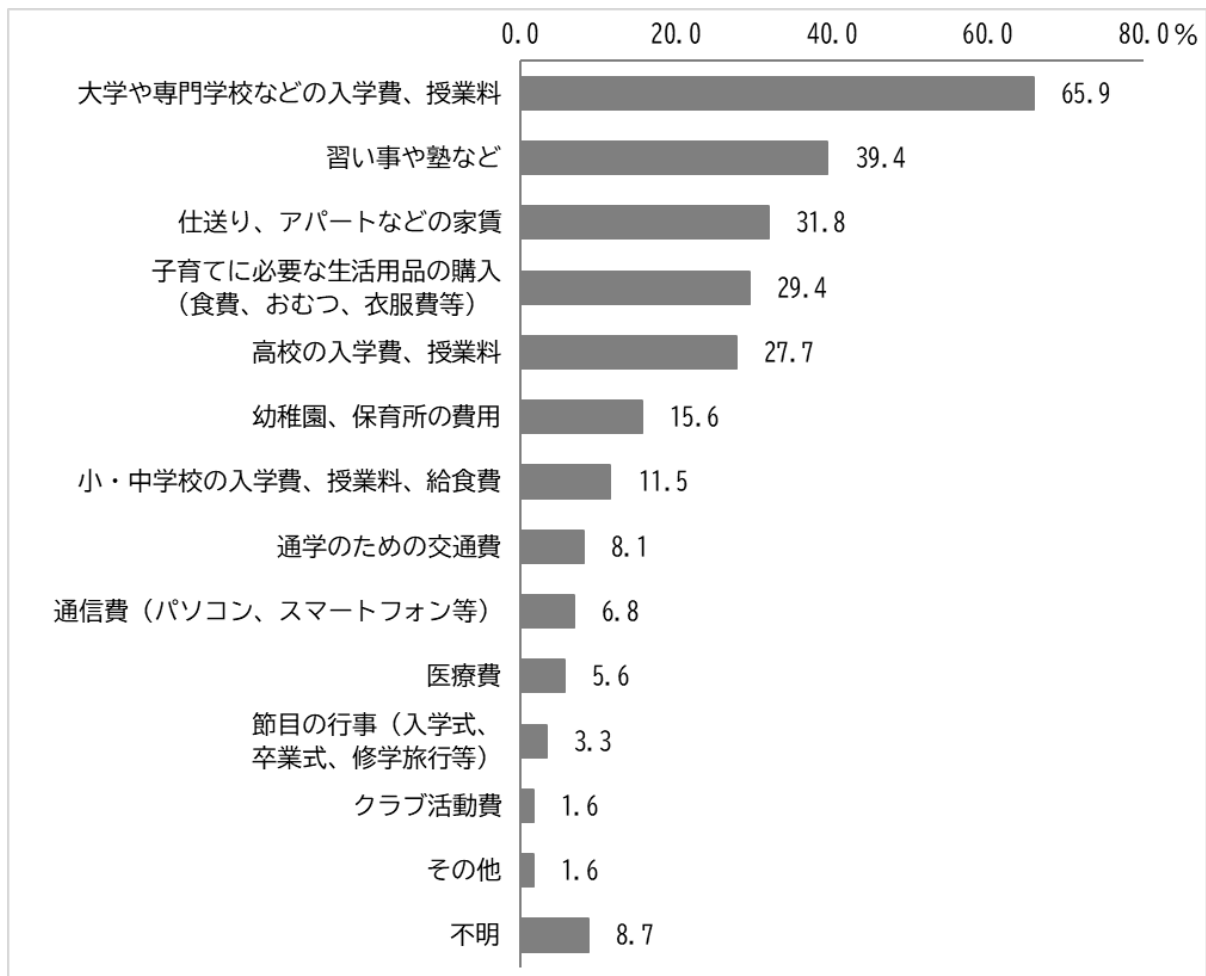
※今回調査の割合は、「その他」を分母に含めて算出

※割合は、「不明(未回答など)」を分母に含めず算出

問9-2 あなたは、子育てや教育にお金がかかる主な理由は何だと思いますか。
次の中からあてはまると思うものを3つまで○をつけてください。
(○は3つまで)

○ 子育てや教育にお金がかかる主な理由について質問したところ、「大学や専門学校などの入学費、授業料」が65.9%で最も高く、次いで「習い事や塾など」(39.4%)、「仕送り、アパートなどの家賃」(31.8%)となっています。

図表14 子育てや教育にお金がかかる主な理由



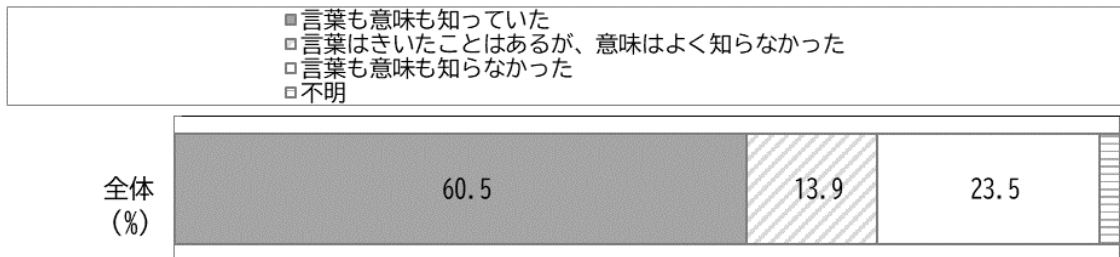
※割合は、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

問 10 あなたは、「ヤングケアラー*」について知っていましたか。

*本来であれば大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを「ヤングケアラー」といいます。

- 「ヤングケアラー」について知っているか質問したところ、「言葉も意味も知っていた」が60.5%で最も高く、次いで「言葉も意味も知らなかった」(23.5%)、「言葉はきいたことはあるが、意味はよく知らなかった」(13.9%)となっています。

図表 15 「ヤングケアラー」について知っているか



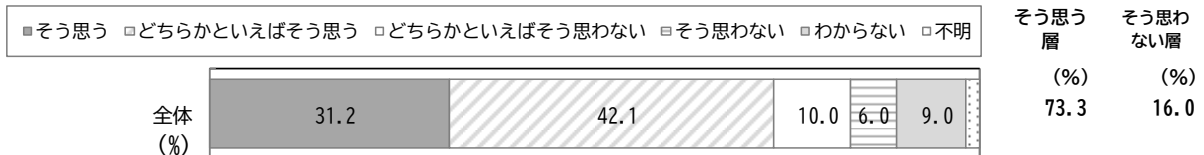
※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

○ 観光について

問 11 あなたは、三重県経済の発展にとって観光産業が重要な役割を果たしていると思いますか。

- 三重県経済の発展にとって観光産業が重要な役割を果たしているかについて質問したところ、「そう思う層」の割合が73.3%で、「そう思わない層」(16.0%)より57.3ポイント高くなっています。

図表 16 三重県経済の発展にとって観光産業が重要な役割を果たしているか



※「そう思う」の割合・・・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「そう思わない層」の割合・・・「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

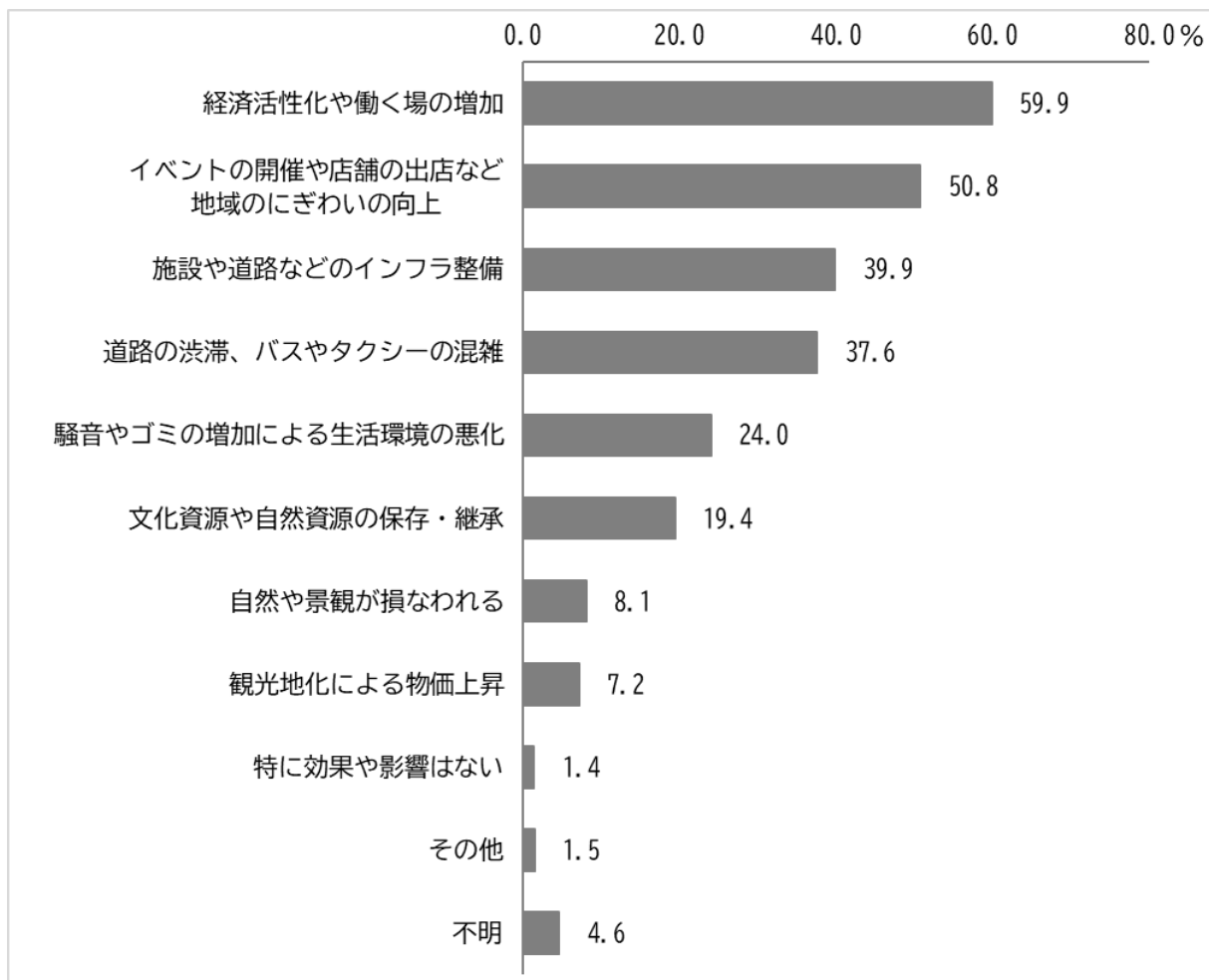
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 12 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

(〇は3つまで)

- 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うかについて質問したところ、「経済活性化や働く場の増加」が59.9%で最も高く、次いで「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(50.8%)、「施設や道路などのインフラ整備」(39.9%)となっています。

図表 17 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか



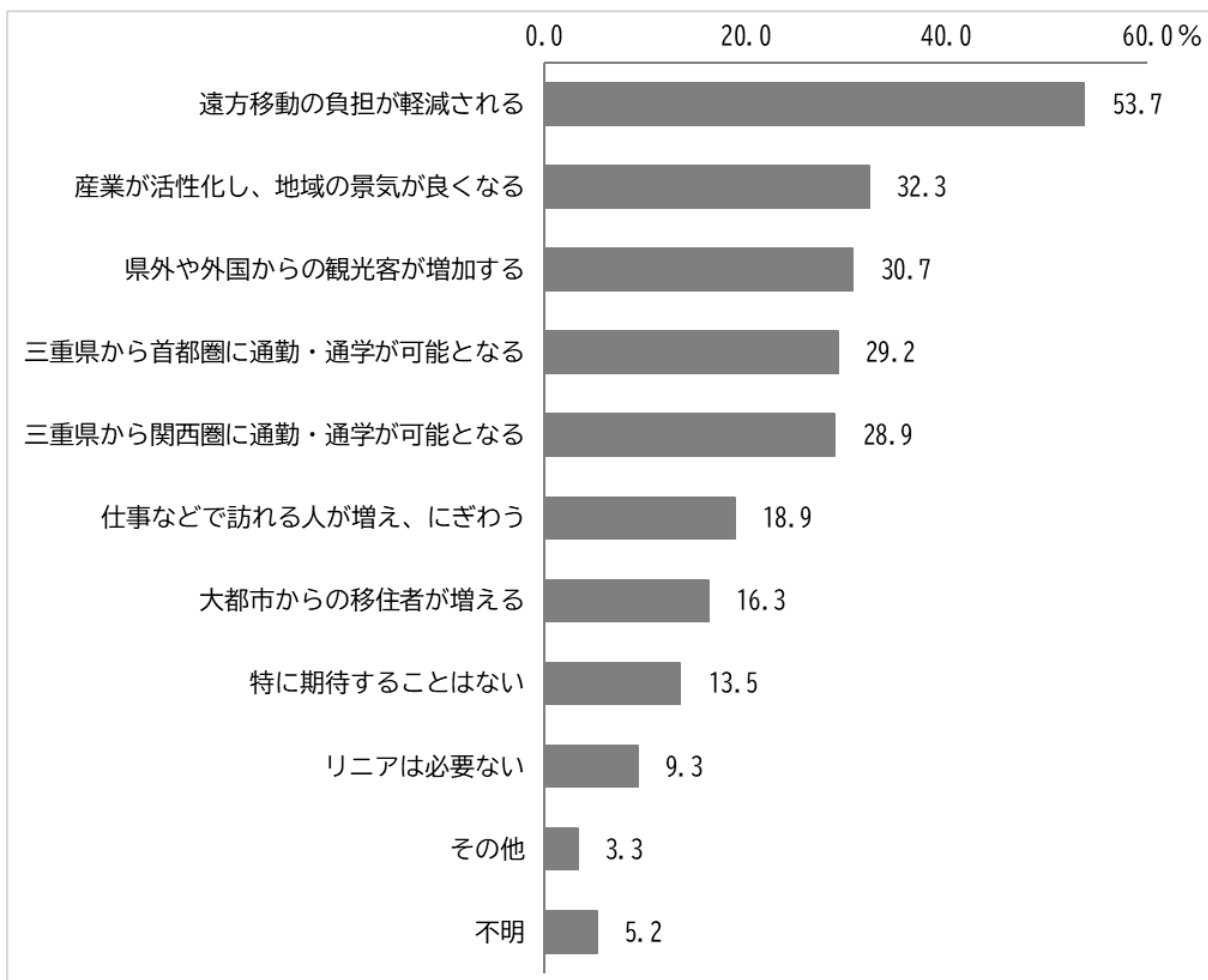
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

○ リニア中央新幹線について

問 13 リニア中央新幹線が開業すると、三重県駅が設置され、東京まで約1時間、大阪まで約20分で結ばれることになります。リニアの県内駅ができることについて、あなたが期待することは何ですか。(複数回答可)

○ リニアの県内駅ができることについて、あなたが期待することについて質問したところ、「遠方移動の負担が軽減される」が53.7%で最も高く、次いで「産業が活性化し、地域の景気が良くなる」(32.3%)、「県外や外国からの観光客が増加する」(30.7%)となっています。

図表 18 リニアの県内駅ができることについて、期待すること

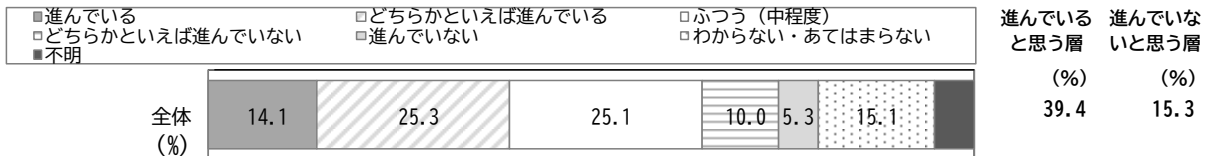


※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 14 あなたは、身のまわりでデジタル化が進んでいると思いますか。
仕事や暮らしの中で、次の中からあてはまるものを選んでください。

- 身のまわり（仕事）でデジタル化が進んでいるかについて質問したところ、「進んでいると思う層」の割合が39.4%で、「進んでいないと思う層」の割合（15.3%）より24.1ポイント高くなっています。

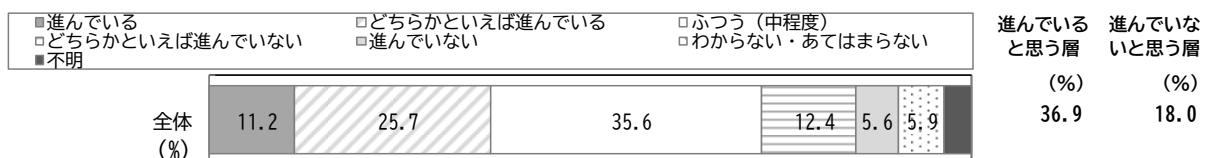
図表 19 身のまわり（仕事）でデジタル化が進んでいるか



※「進んでいると思う層」の割合・・・「進んでいる」と「どちらかといえば進んでいる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「進んでいないと思う層」の割合・・・「進んでいない」と「どちらかといえば進んでいない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

- 身のまわり（暮らし）でデジタル化が進んでいるかについて質問したところ、「進んでいると思う層」の割合が36.9%で、「進んでいないと思う層」の割合（18.0%）より18.9ポイント高くなっています。

図表 20 身のまわり（暮らし）でデジタル化が進んでいるか

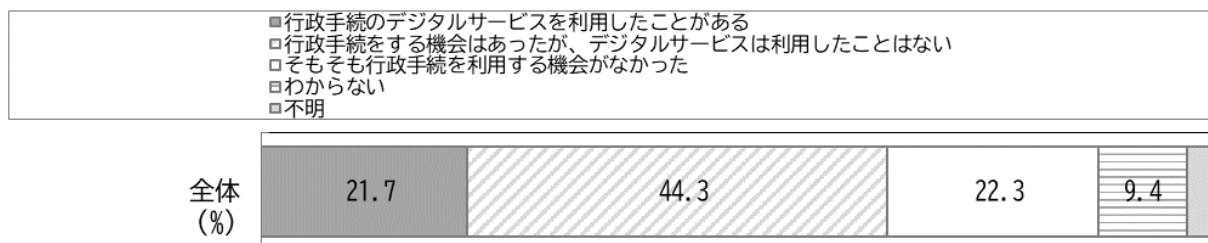


※「進んでいると思う層」の割合・・・「進んでいる」と「どちらかといえば進んでいる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「進んでいないと思う層」の割合・・・「進んでいない」と「どちらかといえば進んでいない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 15 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

- 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるかについて質問したところ、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」が44.3%で最も高く、次いで「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(22.3%)、「行政手続のデジタルサービスを利用したことがある」(22.3%)となっています。

図表 21 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるか

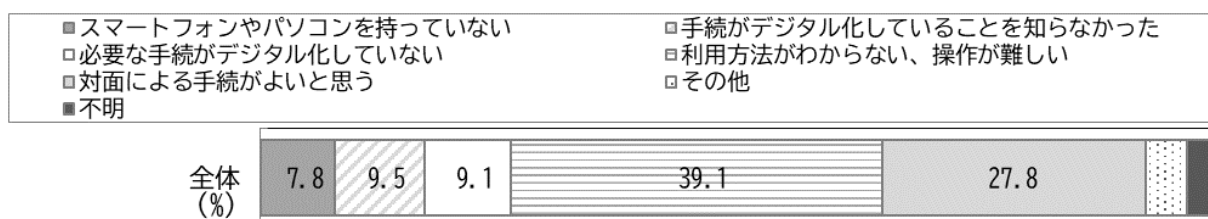


※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 15-2 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由は何ですか。

- 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由について質問したところ、「利用方法がわからない、操作が難しい」が39.1%で最も高く、次いで「対面による手続がよいと思う」(27.8%)、「手続がデジタル化していることを知らなかった」(9.5%)となっています。

図表 22 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由



※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 16 あなたは、これまでに結婚をしたことはありますか。

➤ **結婚経験**

- 回答者の配偶関係は、「未婚」が15.5%、「有配偶」が67.9%、「死別」が7.6%、「離別」が7.5%となっています。

図表 23 配偶関係

(%)

未婚 15.5	有配偶 67.9	死別 7.6	離別 7.5
------------	-------------	-----------	-----------

※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 16-2 これまでに結婚したことがある方（問 16 で「有配偶」「死別」「離別」を選んだ方）におききします。出会いのきっかけは何ですか。

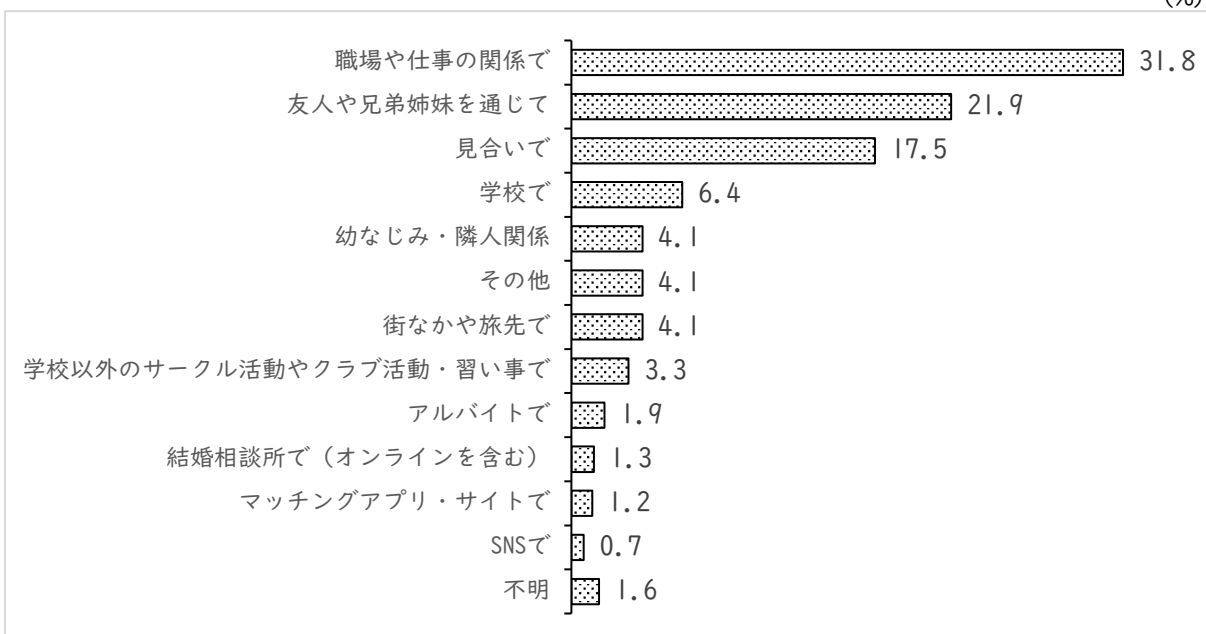
（※再婚の方は初婚のきっかけ）

➤ **出会いのきっかけ**

- 出会いのきっかけは、「職場や仕事の関係で」が31.8%、「友人や兄弟姉妹を通じて」が21.9%、「見合いで」が17.5%となっており、全体の約70%を占めています。

図表 24 出会いのきっかけ

(%)



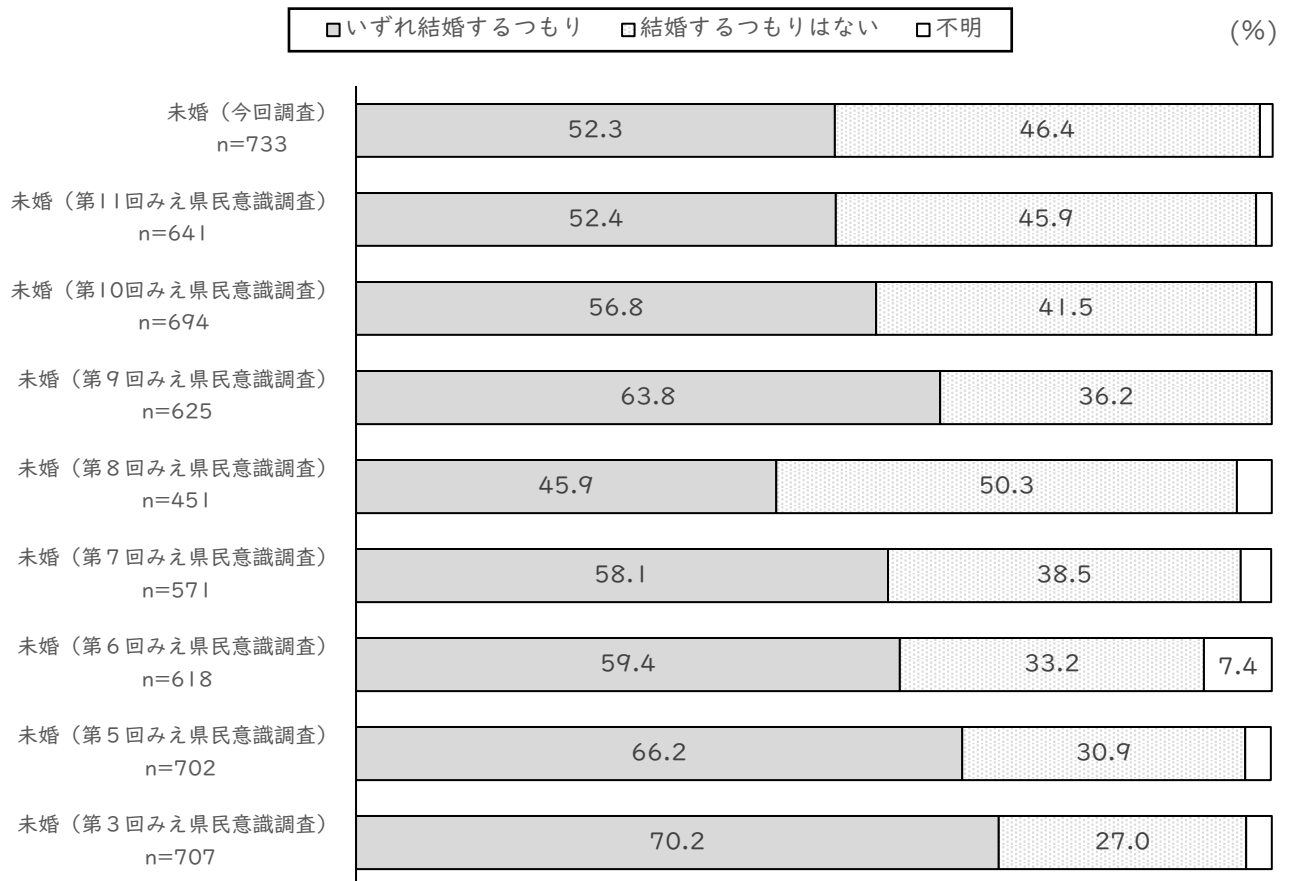
※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 16-3 これまでに結婚したことがない方（問 16 で「未婚」を選んだ方）におききます。
 今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

➤ 未婚の方の結婚に対する考え方

○ 結婚に対する考え方について、未婚の方は「いずれ結婚するつもり」が52.3%、「結婚するつもりはない」が46.4%となっています。

図表 25 未婚の方の結婚に対する考え方



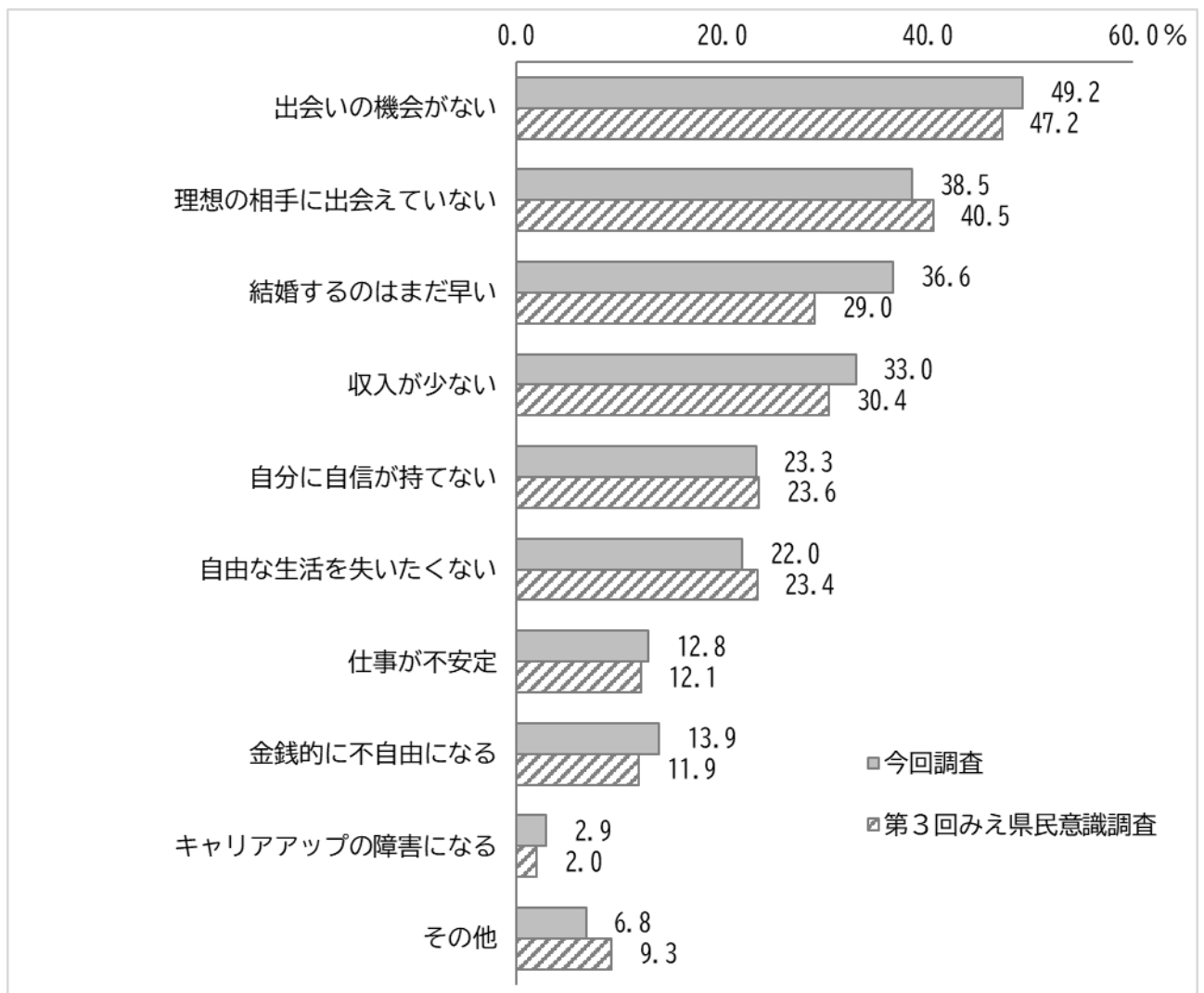
※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 16-4 問 16-3 で「いずれ結婚するつもり」を選んだ方におききします。
 現在、結婚していない理由は何ですか。(複数回答可)

➤ いずれ結婚するつもりの方が、現在、結婚していない理由

- いずれ結婚するつもりの方が、現在、結婚していない理由について、「出会いの機会がない」が49.2%で最も高く、次いで「理想の相手に出会えていない」(38.5%)、「結婚するのはまだ早い」(36.6%)となっています。
- 第3回みえ県民意識調査の割合と比較すると、「結婚するのはまだ早い」と「収入が少ない」の順位に変更があったものの、その他の順位に変更はありません。

図表 26 いずれ結婚するつもりの方が、現在、結婚していない理由



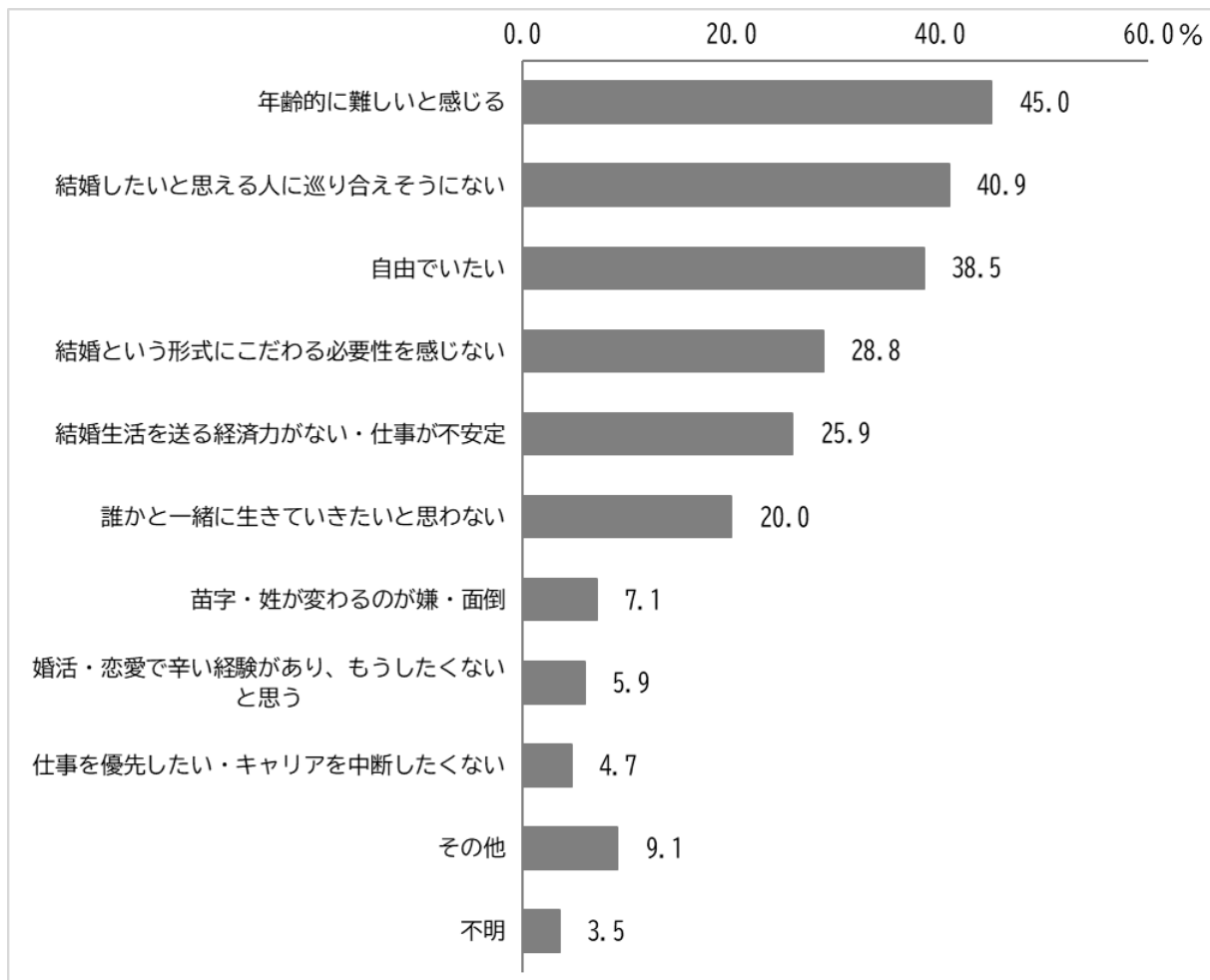
※割合は、「不明(未回答など)」を分母に含めず算出

問 16-5 問 16-3 で「結婚するつもりはない」を選んだ方におききします。
「結婚するつもりはない」と考える理由は何ですか。(複数回答可)

➤ 「結婚するつもりはない」と考える理由

- 結婚するつもりはない理由について、「年齢的に難しいと感じる」が 45.0%で最も高く、次いで「結婚したいと思える人に巡り合えそうにない」(40.9%)、「自由でいたい」(38.5%)となっています。

図表 27 結婚するつもりはない理由



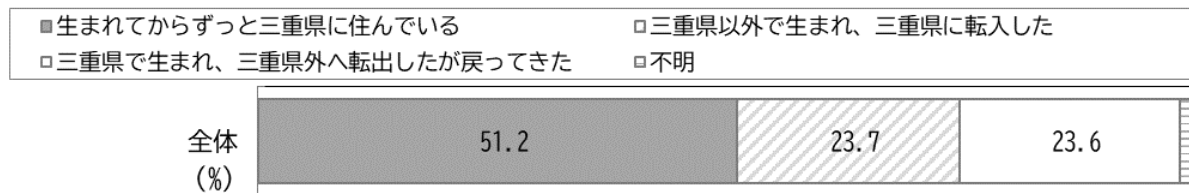
※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 17 あなたは、県外へ転出、または、三重県に転入したことはありますか。

➤ 転出・転入の経験について

- 転出・転入の経験について質問したところ、「生まれてからずっと三重県に住んでいる」が51.2%で最も高く、次いで「三重県以外で生まれ、三重県に転入した」(23.7%)、「三重県で生まれ、三重県外へ転出したが戻ってきた」(23.6%)となっています。

図表 28 転出・転入の経験について



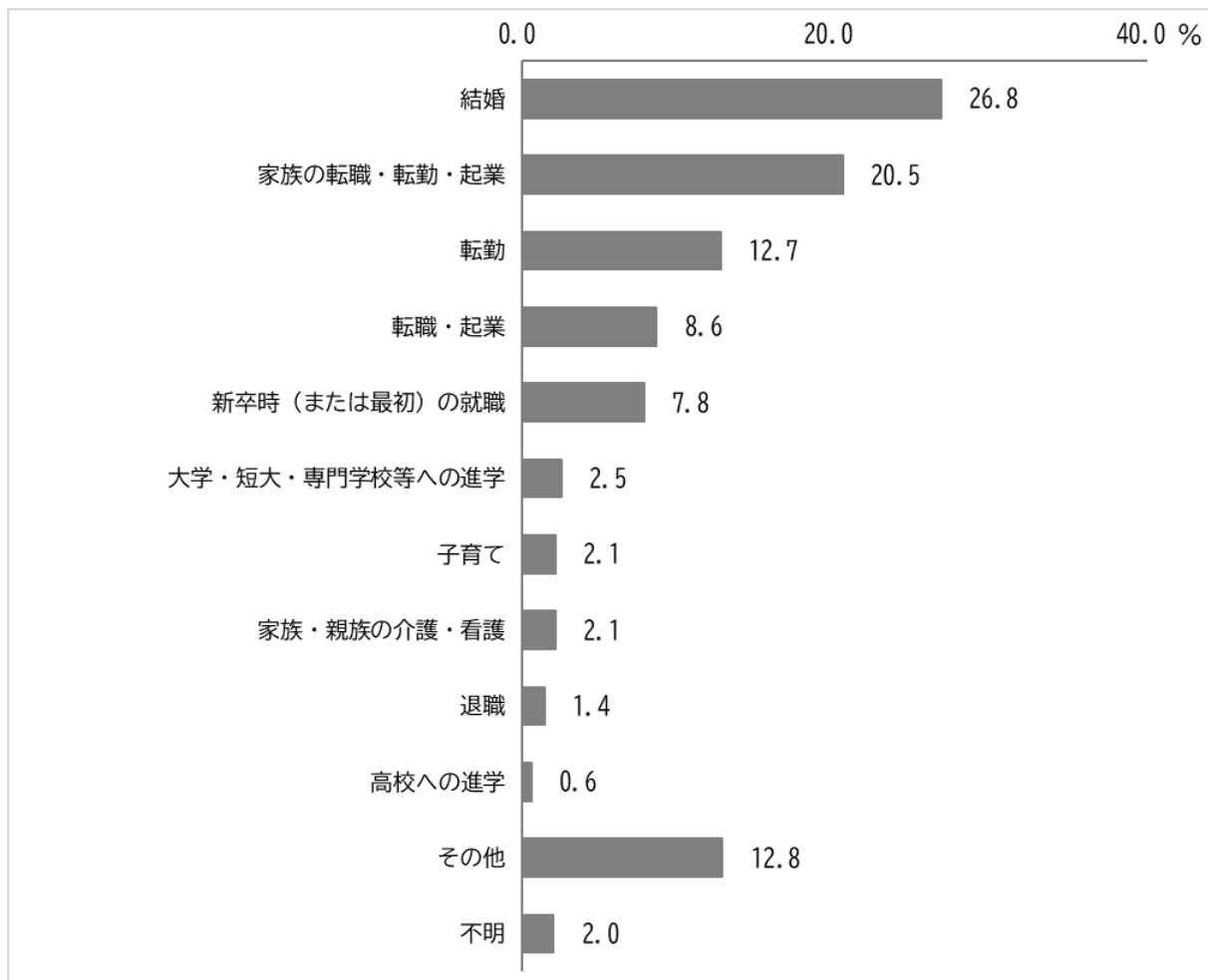
※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 17-2 問 17 で「三重県以外で生まれ、三重県に転入した」を選んだ方におききます。三重県に転入した主な理由として、あてはまるものを選んでください。

➤ 三重県以外で生まれ、転入した主な理由について

- 転入した主な理由について質問したところ、「結婚」が26.8%で最も高く、次いで「家族の転職・転勤・起業」(20.5%)、「転勤」(12.7%)となっています。

図表 29 三重県以外で生まれ、転入した主な理由について (属性別)



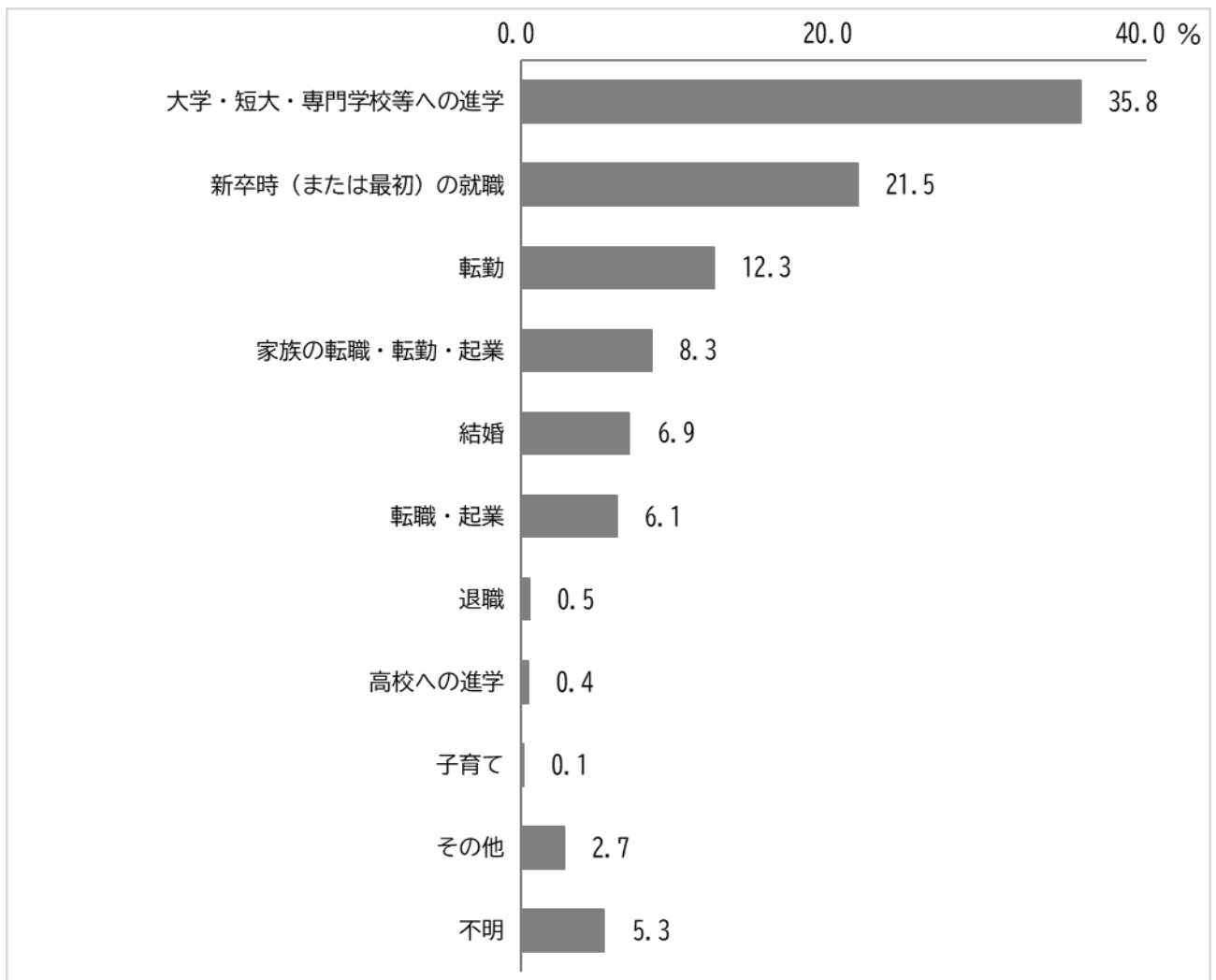
※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問17-3 問17で「三重県で生まれ、三重県外へ転出したが戻ってきた」を選んだ方におききします。三重県から転出した理由、三重県に戻ってきた主な理由として、あてはまるものをそれぞれ選んでください。

➤ 三重県で生まれ、転出した主な理由について

- 転出した主な理由について質問したところ、「大学・短大・専門学校等への進学」が35.8%で最も高く、次いで「新卒時（または最初）の就職」（21.5%）、「転勤」（12.3%）となっています。

図表30 三重県で生まれ、転出した主な理由について（属性別）



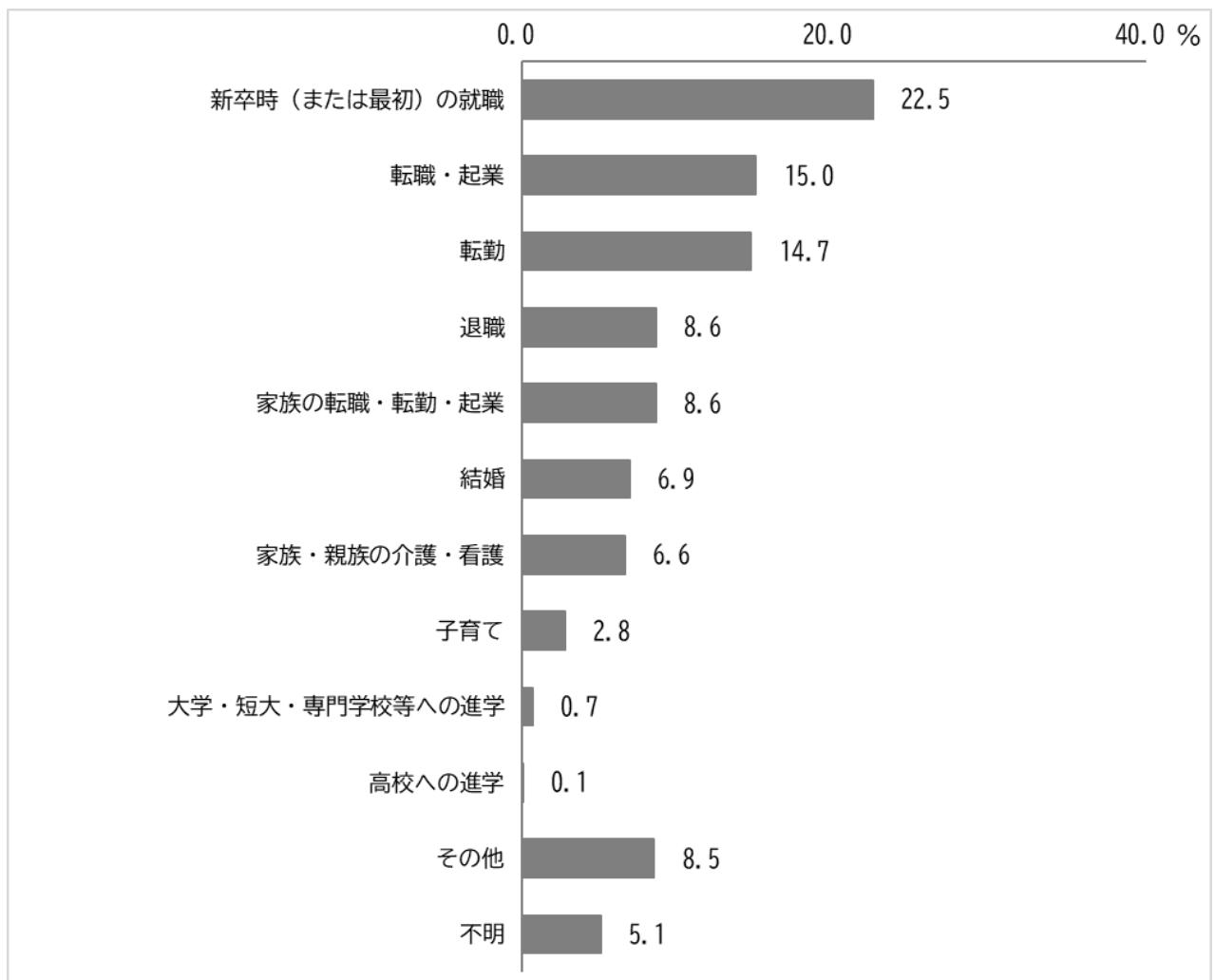
※割合は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問17-3 問17で「三重県で生まれ、三重県外へ転出したが戻ってきた」を選んだ方におききします。三重県から転出した理由、三重県に戻ってきた主な理由として、あてはまるものをそれぞれ選んでください。

➤ 三重県外へ転入したが、戻ってきた主な理由について

○ 三重県外へ転出したが、戻ってきた主な理由について質問したところ、「新卒時（または最初）の就職」が22.5%で最も高く、次いで「転職・起業」（15.0%）、「転勤」（14.7%）となっています。

図表31 三重県外へ転出したが、戻ってきた主な理由について（属性別）



※割合は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出